

近畿地方向け基本方針

- 近畿地方の6つの放送局は、地域社会の維持・発展に貢献することを使命とします。
- 頻発・激甚化する自然災害や事件・事故に対し、確かな取材力と高い専門性に基づいた正確な情報を、放送とインターネットで迅速に伝え、“人々の命と暮らしを守る”報道に尽力します。2025年は、阪神・淡路大震災から30年という節目の年であり、改めて震災を風化させない取り組みに力を入れるとともに、南海トラフ巨大地震など今後の災害に備え、防災・減災に資する最新の情報を発信します。また災害時には、命を守るため、近畿の各放送局のネットワークを生かして正確できめ細かな情報を発信します。
- 地域課題とその解決につながる情報を積極的に発信し、安全で豊かな社会の実現に貢献します。また、多角的な視点を紹介することで、フェイクニュースやフィルターバブル等の弊害を減じ、民主主義の発展に寄与します。
- 地域活性化に貢献するために、2025年の「日本国際博覧会(大阪・関西万博)」をはじめとして、近畿各地が誇る歴史・伝統文化・芸術・観光資源などの多彩な魅力を、近畿だけでなく、全国・世界に発信します。また、プロスポーツをはじめ、活動が盛んなアマチュアスポーツなど、近畿地方のスポーツを盛り上げます。
- 教養や福祉、娯楽など多様なジャンルで、心の豊かさ、明日への活力につながるような質の高いコンテンツを充実させるとともに、地域の生活や文化の向上に資する情報を発信します。

各局の重点事項

大阪放送局

■ ニュース番組を強化し、信頼できる基本的な地域情報を提供します

社会に不確かな情報があふれる中で、地域の人々に役立つ基本的な情報を正確・迅速そして深く伝えられるようニュース番組を強化します。特に、平日午後6時台の地域向けニュース番組を基幹番組として位置づけ、事件・事故から行政や経済の動き、教育や福祉の問題、生活・暮らしに関わる情報、スポーツ、地域の魅力まで、幅広いテーマを硬軟織り交ぜた演出でわかりやすく伝え、“近畿地方の今がわかる番組”を目指します。

■ 情報番組や紀行番組などを充実させて、地域の課題解決や活性化に貢献します

金曜夜間の地域向け情報番組の内容を充実させて、近畿の課題やその解決に資する情報を発信するとともに、それらについての多角的な視点を紹介し、多くの人々の意見を踏まえた課題解決へつなげられるよう尽力します。また、木曜夜間の紀行番組や週末の情報番組で近畿各地の魅力を積極的に発信し、地域活性化に貢献します。

■ 特集番組やアーカイブスを活用し、多様なニーズに応えるコンテンツを提供します

幅広い年齢層の多様なニーズに応えるため、バラエティーに富んだコンテンツを随時放送します。プロ野球などのスポーツ中継や漫才・コント、歌番組などの特集番組に加えて、甲子園100年、「パリオリンピック・パラリンピック」、「大阪・関西万博」などのビッグイベントを盛り上げる企画に積極的に取り組み、多くの人たちに満足いただけるよう尽力します。さらに、近畿地方の豊かな自然や文化、その地に暮らす人々などを取り上げた豊富なアーカイブスも活用し、NHKの映像資産を社会に還元します。

京都放送局

■ “文化首都”を目指す京都の伝統文化や美しい景観を全国・世界に発信します

“文化首都”を目指す京都は、大河ドラマ「光る君へ」の舞台としても注目を集めています。千年の都が育んできた伝統行事や国宝などの文化財、自然と歴史が調和した美しい景観を超高精細映像で記録すると同時に、変貌する京都の動きを京都府内だけでなく、国内外にも発信します。京都放送局の8Kプラザを活用し、地域の人たちが多様な京都の魅力を体験できる関連イベントを開催し、地域サービスの充実に努めます。

■ 府内各地域の魅力と課題に目を向け、地域の人たちとの結びつきを強めます

平日午後6時台のニュース・情報番組で、これまで以上に京都府民の生活に密着した話題を掘り下げるとともに、府内の市町村を巡回するキャラバンを実施し、その地域の情報や魅力を積極的に発信します。また、視聴者からの素朴な疑問に答える「こえきく！！プロジェクト」を継続し、地域の課題とその解決につながる情報を発信します。オーバーツーリズムによる観光公害、行政に関する疑問、子育てや教育に関する困りごとなどを定期的に紹介し、それを出発点に、番組・イベント・キャンペーンなどを実施し、解決の糸口を探っていきます。

神戸放送局

- **阪神・淡路大震災を伝え続け、兵庫県の安全・安心につながる多様な発信をします**
2025年1月で発災から30年となる阪神・淡路大震災の記憶、教訓を、新しい視点や手段を駆使して伝え続けます。放送だけでなく、SNS等のデジタル発信やARを使ったコンテンツの制作、それらを活用したイベント等の取り組みなどを含むあらゆる手段で、災害に関する最新の情報や30年で蓄積してきた知見を視聴者に届けます。南海トラフ巨大地震や激甚化する気象災害をはじめとするさまざまな災害に対して、兵庫県の人たちの生命・財産の安全・安心につながる発信を続けます。
- **“五国”の多様性を尊重し、情報発信の拠点としての存在意義を高めます**
摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の五国からなる兵庫県の多様性を尊重し、各地域の政治・経済・社会の課題を丹念に洗い出して深く取材し、課題解決につながるような情報発信を目指します。あわせて、県内向けの定時放送枠を持つ放送局として、地域で活動するさまざまな機関・団体と協力しながら、文化や地域の振興に資する多様な発信を行います。そして次世代に伝えたい知見や映像の蓄積を続けることで、情報発信と知的財産の承継を担う地域の放送局としての存在意義を高めていきます。

和歌山放送局

- **南海トラフ巨大地震、災害に備えます**
南海トラフ巨大地震をはじめとした災害から命と暮らしを守り、犠牲者ゼロを目指す“守るプロジェクト”を全局体制で展開します。平日午後6時台のニュース・情報番組で、防災・減災に関するニュースや情報を積極的に伝えるほか、FMラジオでも、県内のコミュニティーFM局と連携して防災番組を制作・放送します。また、台風などの気象災害が激しさを増す中、2011年の紀伊半島豪雨の記憶を次の世代に伝えるとともに、災害の教訓をどう生かすか検証し、大雨・洪水や土砂災害への警戒を呼びかける取り組みを続けます。
- **和歌山県内各地域の魅力と課題を掘り下げて伝え、県内外に広く発信します**
過疎・高齢化など和歌山県が抱える課題について、平日午後6時台のニュース・情報番組で掘り下げて伝え、課題解決に向けた取り組みやアイデアを紹介します。また、番組では、県内の特定の市町村を集中的に取り上げるなど、さまざまな方法で地域の魅力や地域で活躍する人々を紹介します。制作したコンテンツはNHKプラスのほか、ホームページやSNSも使って県内外に広く発信します。

奈良放送局

- **歴史・文化などの魅力を多様なコンテンツで発信し、奈良放送局の存在感を高めます**
世界遺産や国宝などの文化財、伝統行事、美しい風景など奈良が誇る魅力を、引き続き超高精細映像で記録するとともに、最先端のVR技術を駆使し、デジタル・イベントとも連動しながら、教育現場での活用をはじめ、文化財などを立体的に体感できる迫力の映像を提供します。放送開始100年を迎えるにあたり、2025年の「大阪・関西万博」も見据え、奈良放送局が保存する貴重な映像を発掘・活用し、NHKのアーカイブスの価値を地域のみなさんと共有します。

- **放送とデジタルの両輪で、課題に向き合い、安全・安心を支える地域の情報基盤の役割を果たします**
平日午後6時台のニュース番組は、地域情報の発信と参照のよりどころとなるよう、話題の人を取り上げたインタビューコーナーを始めるなど、さらに内容の充実を図ります。県内39市町村の魅力や課題を掘り起こして丁寧に伝え、特定の地域を集中的に特集する取り組みを継続します。頻発化・激甚化する自然災害から命と暮らしを守るため、2011年の紀伊半島豪雨の教訓を引き続き伝え、災害のおそれがある場合は、放送とインターネットの連携により、迅速にきめ細かい情報の発信に努めます。

大津放送局

- **地域の情報を多角的に発信し、県民の安全と安心に貢献し、NHKの存在意義を高めます**
平日午後6時台のニュース・情報番組では、地域の課題を掘り下げるとともに、びわ湖の環境保全や、地場産業の活性化など地域社会に貢献する情報を広く発信していきます。また、県民の生命と財産を守るために、台風や南海トラフ巨大地震、びわ湖西岸断層帯を震源とする地震などに備え、防災や減災に関するさまざまな情報を発信し、県民の防災意識の向上に資する取り組みを継続していきます。
- **子どもから大人まで幅広い世代に魅力あるコンテンツを提供します**
滋賀県は人口に占める子どもの割合が全国2位となっていて、子どもを中心に取り上げるさまざまな番組を展開します。また、大河ドラマ「光る君へ」にあわせた県内の動きを捉えて発信するのをはじめ、地元につながる歴史や文化、びわ湖を中心とした自然を細かく取材し、滋賀の魅力を全国に伝えていきます。さらに、バスケットボールBリーグで1部復帰を目指す「滋賀レイクス」といった地域スポーツをはじめ、多種多様な分野で活躍を見せる人々を取り上げ、地域活性化に貢献していきます。